

本単元で育む主な情報活用能力

C-STEP2, D-STEP2
G-STEP2

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力（ステップシートの項目）

（教科等でつきたい力）

- ・地域の関係機関や人々は、自然災害に対し、様々な協力をして対処してきたことや、今後想定される災害に対し、様々な備えをしていることを理解する。
- ・自然災害から人々を守る活動について、予想や学習計画を立てたり、見直したりして、主体的に学習問題を追及し、解決する。

（学校図書館等の活用でつきたい力）

- ・地域で起こり得る災害を想定し、日頃から必要な備えをするなど、自分たちにできること考えたり、選択・判断したりして表現する。

単元における学習の展開（全15時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第1次 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・日本で起きた自然災害について知る。 ・日本で起きた自然災害について調べる。(☆) ・人々を守るための市の役わりや地域の人々の取り組みを知る。
第2次 (4時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害が起きたときに自分たちがどうすべきかを知る。 ・自然災害に備える方法を知る。 ・自然災害に備える方法を自分のテーマに沿って調べる。(☆)
第3次 (5時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・防災についての発表の準備をする。
第4次 (3時間)	<ul style="list-style-type: none"> ・図書資料を生かし、みている人がわかりやすいプレゼンテーションをつくる。(本時) ・保護者に向けて防災の発表をする。

本時のねらい

防災に関する図書資料をもとに、分かりやすいように工夫して発表するためのプレゼンテーションをつくる。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用のポイント 及び指導上の留意点
導入 (5分)	<p>1. 本時の学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者を対象に防災意識を高めるためのプレゼンテーションの準備をする。 	
展開 (35分)	<p>資料を生かし、みている人がわかりやすいプレゼンテーションをつくらう。</p> <p>2. 分かりやすいプレゼンテーションにするための工夫を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際に分かりにくい防災マップやスライドを例に考える。 <p>3. プレゼンテーションのための資料づくりをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原稿づくり、防災マップづくり、発表用スライドづくりなど、タブレット端末を活用して作成する。 	<p>・図書資料や事前に調べてまとめた情報カードから、みる人が「なるほど」と思える内容になるように工夫させる。</p> <p>・作成中のスライド等でよい所を随時提示し、共有することで、作成の参考にさせる。</p> <p>・図書資料をもとに分かりやすいように工夫して発表するためのプレゼンテーションをつくる。</p>
まとめ (5分)	<p>4. 今日の授業をふりかえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふりかえりシートに記入する。 	<p>・プレゼンテーションでどんなところを工夫したのかをふりかえる。</p>

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・調べ学習を通して、自然災害に対して、様々な協力をして対処してきたことや様々な備えが必要であることを知ることができた。
- ・調べたことを情報カードにまとめておくことで、話し合いながら情報カードを見直す姿が多く見られた。
- ・タブレット端末を利用して調べたことをまとめるなかで、自分が伝えたい思いをどのようにすればわかりやすく伝えられるのか工夫することができた。
- ・調べたことを生かして自分の考えを伝えたことで、防災意識の高まりが見られた。



情報カードをもとにして、分かりやすい発表ができるように話し合うことができました